殺菌剤

パレード®20フロアブル

ピラジフルミド…… 20.0%

種類名／ピラジフルミド水和剤
農林水産省登録／第24071号(日本農薬登録)
毒性／普通物*
有効年限／5年
包装／250mℓ×20

特　長

- 新規有効成分ピラジフルミドを含有する野菜用SDHI殺菌剤であり、菌核病、うどんこ病、灰色かび病といった幅広い病害に高い効果を発揮します。
- SDHI殺菌剤の中で唯一ピラジンカルボキサミド骨格を持ち、病害への高い効果と、適用作物への高い安全性を実現しています。
- 天敵や有用昆虫、環境生物への影響が少なく、様々な場面で使いやすい製品です。

適用病害と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
豆類(種実、但し、らっかせいを除く) 豆類(未成熟)	菌核病 灰色かび病 うどんこ病 (だいず、さやえんどう) 褐紋病 (さやえんどう)	2000～4000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	本剤　3回 ピラジフルミド剤　3回	散布
	褐色輪紋病 (だいず) さび病 (あずき、さやえんどう)	2000倍				
トマト ミニトマト	灰色かび病 葉かび病 うどんこ病 菌核病 斑点病	2000～4000倍				
	すすかび病	2000倍				
なす	灰色かび病 すすかび病 菌核病 うどんこ病 黒枯病	2000～4000倍				
ピーマン及びとうがらし類	うどんこ病 黒枯病 灰色かび病					
きゅうり	灰色かび病 菌核病 うどんこ病 褐斑病 つる枯病					
ズッキーニ	灰色かび病 菌核病 うどんこ病 つる枯病					
にがうり	うどんこ病					

(つづく)

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
うり類（成熟）	うどんこ病 つる枯病 （すいか、メロン） 菌核病 （すいか、メロン）	2000～ 4000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	本剤　3回 ピラジフルミド剤　3回	散布
	うどんこ病	16倍	1.6ℓ			無人 航空機 散布
		20倍	2.0ℓ			
		32倍	3.2ℓ			
はくさい	黒斑病 白斑病 菌核病	2000～ 4000倍	100～300ℓ		本剤　3回 ピラジフルミド剤　3回 ［灌注は1回］	散布
	菌核病	16倍	1.6ℓ			無人 航空機 散布
		20倍	2.0ℓ			
		32倍	3.2ℓ			
	菌核病 苗立枯病 （リゾクトニア菌）	100倍	セル成型育苗トレイ1箱又は、ペーパーポット1冊（約30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	本剤　1回 ピラジフルミド剤　3回 ［灌注は1回］	灌注
キャベツ	菌核病 苗立枯病 （リゾクトニア菌） 根朽病					
	菌核病	16倍	1.6ℓ	収穫前日 まで	本剤　3回 ピラジフルミド剤　3回 ［灌注は1回］	無人 航空機 散布
		20倍	2.0ℓ			
		32倍	3.2ℓ			
	菌核病 株腐病 根朽病	2000～ 4000倍	100～300ℓ			散布
はなやさい類	根朽病					
	菌核病 黒すす病	16倍	1.6ℓ			無人 航空機 散布
		20倍	2.0ℓ			
		32倍	3.2ℓ			
		100倍	セル成型育苗トレイ1箱又は、ペーパーポット1冊（約30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	本剤　1回 ピラジフルミド剤　3回 ［灌注は1回］	灌注
	根朽病 苗立枯病 （リゾクトニア菌）					
なばな類	菌核病	2000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	本剤　2回 ピラジフルミド剤　3回 ［灌注は1回、散布は2回］	散布
		100倍	セル成型育苗トレイ1箱又は、ペーパーポット1冊（約30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り0.5ℓ	定植当日	本剤　1回 ピラジフルミド剤　3回 ［灌注は1回、散布は2回］	灌注

（つづく）

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
レタス 非結球レタス	菌核病 灰色かび病 すそ枯病	2000～ 4000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	本剤　3回 ピラジフルミド剤　3回 ［灌注は1回］	散布
	白絹病	2000倍				
	菌核病 すそ枯病 白絹病	100倍	セル成型育苗トレイ1箱又は、ペーパーポット1冊（約30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	本剤　1回 ピラジフルミド剤　3回 ［灌注は1回］	灌注
	菌核病 灰色かび病	16倍	1.6ℓ	収穫前日 まで	本剤　3回 ピラジフルミド剤　3回 ［灌注は1回］	無人航空機散布
		20倍	2.0ℓ			
		32倍	3.2ℓ			
しょうが	白星病	2000～ 4000倍	100～300ℓ		本剤　3回 ピラジフルミド剤　3回	散布
にんじん	黒葉枯病 菌核病					
たまねぎ	黒腐菌核病	2000倍				
	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病	2000～ 4000倍				
		20倍	1.6ℓ			無人航空機散布
		25倍	2.0ℓ			
		40倍	3.2ℓ			
にんにく	黒腐菌核病	原液	種球重量の1%	植付前	本剤　1回 ピラジフルミド剤　3回 ［種球塗沫は1回、散布は2回］	種球塗沫
	葉枯病	2000倍	100～300ℓ	収穫前日 まで	本剤　2回 ピラジフルミド剤　3回 ［種球塗沫は1回、散布は2回］	散布
にら	白斑葉枯病	2000～ 4000倍			本剤　3回 ピラジフルミド剤　3回	
	白絹病 褐色葉枯病	2000倍				
ねぎ	黒斑病 葉枯病 小菌核腐敗病 小菌核病	2000～ 4000倍			本剤　3回 ピラジフルミド剤　3回 ［灌注及び浸漬は合計1回］	
	さび病 黒腐菌核病 白絹病	2000倍				
	黒斑病 葉枯病 さび病	20倍	1.6ℓ			無人航空機散布
		25倍	2.0ℓ			
		40倍	3.2ℓ			
	黒腐菌核病	100倍	セル成型育苗トレイ1箱又は、ペーパーポット1冊（約30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	本剤　1回 ピラジフルミド剤　3回 ［灌注及び浸漬は合計1回］	灌注
		25～ 50倍	—	定植直前		5～10分間苗根部浸漬

（つづく）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害名</th><th>希釈倍数</th><th>10a当り
使用液量</th><th>使用時期</th><th>総使用回数*</th><th>使用方法</th></tr>
<tr><td>い　ち　ご</td><td>うどんこ病
灰色かび病</td><td>2000～
4000倍</td><td>100～300ℓ</td><td rowspan="5">収穫前日
まで</td><td rowspan="13">本剤　3回
ピラジフルミド剤　3回</td><td>散布</td></tr>
<tr><td rowspan="4">アスパラガス</td><td rowspan="4">茎枯病
斑点病
褐斑病</td><td>2000倍</td><td>100～700ℓ</td><td rowspan="4">無人
航空機
散布</td></tr>
<tr><td>8倍</td><td>1.6ℓ</td></tr>
<tr><td>10倍</td><td>2.0ℓ</td></tr>
<tr><td>16倍</td><td>3.2ℓ</td></tr>
<tr><td>オ　ク　ラ</td><td>うどんこ病</td><td>2000倍</td><td rowspan="9">100～300ℓ</td><td rowspan="6">発病初期</td><td rowspan="8">散布</td></tr>
<tr><td>花き類・観葉植物
(ばら、きく、りんどう、ゆり、トルコギキョウを除く)</td><td>うどんこ病</td><td>2000～
4000倍</td></tr>
<tr><td>ば　ら</td><td>うどんこ病
黒星病</td><td>4000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">き　く</td><td>白さび病
うどんこ病</td><td>2000～
4000倍</td></tr>
<tr><td>褐斑病</td><td rowspan="3">2000倍</td></tr>
<tr><td>ゆ　り</td><td>葉枯病</td></tr>
<tr><td rowspan="3">り　ん　ど　う</td><td>黒斑病
花腐菌核病</td></tr>
<tr><td>褐斑病
葉枯病</td><td>発病前</td></tr>
<tr><td rowspan="2">トルコギキョウ</td><td>うどんこ病</td><td rowspan="2">2000～
4000倍</td><td rowspan="2">発病初期</td></tr>
<tr><td>斑点病</td></tr>
</table>

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用前によく振ってから使用してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- みずかけな（水掛菜）、カラーおよび花はすに使用する場合は、圃場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- 灌注で使用する場合には、次の注意事項を守ってください。
  ①調製液をセル成型育苗トレイまたはペーパーポット上方から全体にいきわたるように灌注してください。また、薬剤の効果を十分に発現させるために、処理直前や直後の灌水はさけてください。
  ②キャベツまたははくさいの苗立枯病に使用する場合、リゾクトニア菌による苗立枯病には有効ですが、他の病原菌による苗立枯病には効果が劣るので、リゾクトニア菌以外による苗立枯病の混発が予想される場合には他の有効な薬剤と組み合わせて使用してください。
  ③キャベツの根朽病に使用する場合、育苗期間中の感染が主であるため、育苗期間を主体に使用することが望ましいです。
  ④レタスのすそ枯病に使用する場合、灌注処理での効果は生育初中期が主体であるため、その後の発生が予想される場合には他の有効な薬剤と組み合わせて使用してください。
- 無人航空機散布に関する注意については「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。

●にんにくの種球に塗沫する場合には、次の注意事項を守ってください。
①使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
②薬剤が種球に均一に付着するよう処理した後、乾燥させてください。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
●適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■水産動植物への注意

●浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意


●使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

■貯蔵上の注意

●密栓し、直射日光をさけ、なるべく低温な場所に保管してください。

本資料の記載内容は2026年10月21日現在の登録内容に基づいています。